

平成30年度第2回 茅ヶ崎市「市民討議会」報告書

テーマ：

コミュニケーションから考える市民参加の可能性

～思いをつなげよう未来の茅ヶ崎へ～

茅ヶ崎市「市民討議会」実行委員会

目次

実行委員長あいさつ	1
1 市民討議会の実施概要	
(1) 日程等	2
(2) 討議テーマと情報提供	2
(3) スケジュール	2
(4) 参加者内訳	3
2 市民討議会の討議のヒント	
(1) 討議1	4
(2) 討議2	4
(3) 討議3	4
3 市民討議会の提言のまとめ	
(1) 討議1	5
(2) 討議2	8
(3) 討議3	12
(4) 参加学生の感想と意見	15
4 アンケートの結果	
(1) 事前アンケート	17
(2) 事後アンケート	19
(3) 不参加者アンケート	23
5 講評	28
6 茅ヶ崎市「市民討議会」実行委員会の動き	30
あとがき	31

実行委員長あいさつ

2018年度（今回はその第2回）茅ヶ崎市「市民討議会」の報告書をお届けいたします。本討議会にご参加くださったみなさま、そして、企画・準備・運営に関わったすべてのみなさまに、この場を借りて御礼を申し上げます。

今回の市民討議会では、「コミュニケーションから考える市民参加の可能性～思いをつなげよう 未来の茅ヶ崎へ～」というテーマを設定しました。このもとに、当日お集まり下さった33名の参加者には、「市民参加」の利点と課題について、熱心に話し合っていたいただきました。

事実、討議会そのものは、市民のみなさまに「参加」していただく場です。それゆえ、当日はまさに、「市民参加」によって「市民参加」を討議する機会となりました。あわせて、「市民参加」は人々の接点がつくられる場でもあります。だからこそ、意思疎通を図るための会話が不可欠な構成要素となるはずで、とするならば、私たちは今、コミュニケーションから「市民参加」を考えてみる必要があると感じられます。こうした発想を下敷きに、この討議会での話し合いが、さらなる「市民による話し合い」を生み出すことを大いに期待して、会議を設計しました。その結果をお知らせするのが本報告書です。ぜひとも、内容をご確認ください。

さて、私たち実行委員会が毎回の企画においてとくに注意している点は、招待状に応じてくださる初対面の市民のみなさまに、気兼ねなく話し合っていただけのような討議進行です。いつも、今回はうまくいくだろうかと心配しつつ、当日を迎えます。しかし実際には、それは杞憂に過ぎません。今回も、参加者のみなさまは話し合いに熱中してくださいました。ある人は、同じ茅ヶ崎の人だからという感覚で、対話を楽しんでくださいました。また別の人は、異なる年代の参加者の意見を聞くのが興味深いと言ってくださいました。

このようにして話し合われた内容は、まさしく、市民が共につくった意見といえるでしょう。その証左に、テーブルごとに紹介される討議内容の報告を聞いていると、必ずといって良いほど、報告者の主語が複数形（「私たち」）で語られます。つまり、これら意見は「語り合われた」ものであると示すのが、この主語の変化ではないかと思えます。それだけに、討議会の討議結果も、まちづくりに必要な「市民のアイデア」の一例といえるのではないのでしょうか。

とはいえ、まちづくりは報告書をつくって完了ではありません。この報告書によって、さらなるコミュニケーションがおこり、まちづくりが進展するならば、幸いに存じます。

茅ヶ崎市「市民討議会」実行委員会委員長
文教大学 国際学部
山田 修嗣

1 市民討議会の実施概要

(1) 日程等

- ア 日時 平成30年11月25日(日) 10時00分～16時00分
イ 会場 市役所本庁舎4階会議室2～5
ウ 参加者 33名
エ 主催 茅ヶ崎市「市民討議会」実行委員会
(文教大学湘南総合研究所及び公益社団法人茅ヶ崎青年会議所で構成)

(2) 討議テーマと情報提供

- ア 全体テーマ
「コミュニケーションから考える市民参加の可能性
～思いをつなげよう未来の茅ヶ崎～」
- イ 個別テーマ
討議1 「市民参加の現場体験—パブリックコメントにチャレンジしましょう」
討議2 「参加制度を市民にうまく伝えるために—模擬パブコメをヒントに自治体とのコミュニケーションを考える」
討議3 「市民の心に響く情報伝達の仕組みにむけて—効果的なPR方法の提案」
- ウ 情報提供
討議1 「市民参加の意義とパブリックコメントの流れ」
討議2 「工夫された市民参加手法の紹介」
討議3 「効果的な市民参加の実施と発信」

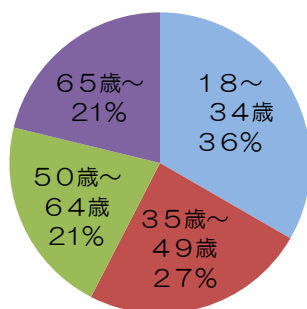
(3) スケジュール

- 10:00 開会、主催者挨拶、実行委員長挨拶
10:05 市民討議会の概要とテーマの説明
10:25 情報提供①「市民参加の意義とパブリックコメントの流れ」
10:40 グループ討議①
11:30 グループ討議内容発表
11:50 【昼食】
12:35 情報提供②「工夫された市民参加手法の紹介」
12:50 グループ討議②
13:40 グループ討議内容発表
14:00 【休憩】
14:10 情報提供③「効果的な市民参加の実施と発信」
14:25 グループ討議③
15:15 【休憩】
15:20 グループ討議内容発表
15:40 1日の振り返り
15:50 閉会

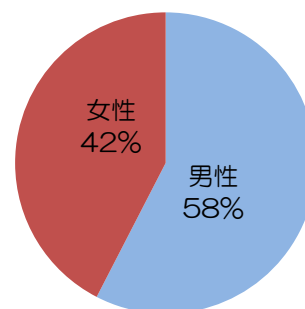
(4) 参加者内訳

	抽出数	承諾者数		
		男性	女性	合計
18歳～34歳	1000	7	4	11
35歳～49歳	600	4	4	8
50歳～64歳	350	4	3	7
65歳～	250	4	3	7
合計	2200	19	14	33

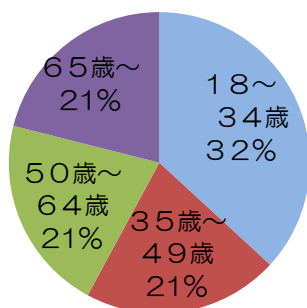
参加者年齢層



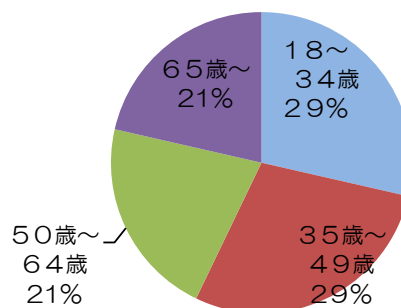
参加者男女比



参加者年齢層（男性）



参加者年齢層（女性）



2 市民討議会の討議のヒント

(1) 討議1「市民参加の現場体験—パブリックコメントにチャレンジしましょう」

内容	討議のヒント・きっかけ
自己紹介	お名前、お住まい、好きなおでんの具
模擬パブリックコメント	模擬パブリックコメントとしての資料を実際に読み、体験してください。体験した後の感想や意見を話し合ってください。

(2) 討議2「参加制度を市民にうまく伝えるために—模擬パブコメをヒントに自治体とのコミュニケーションを考える」

内容	討議のヒント・きっかけ
自己紹介	お名前（おでんネーム）、お住まい、討議1の感想
「気づき」の付箋の整理	「アクセル（参加を好ましいものになっている、促進している）」項目と「ブレーキ（参加を難しくしている、面倒にしている要素）」項目の、「気づき」を模造紙の上で分類してください。
提案	整理した「気づき」から、今後の市民参加について提案

(3) 討議3「市民の心に響く情報伝達の仕組みにむけて—効果的なPR方法の提案」

内容	討議のヒント・きっかけ
自己紹介	お名前（おでんネーム）、お住まい、討議2の感想
市民の心に響く、市民に届く情報伝達の方法	茅ヶ崎市の取り組み（まちづくりの思い）を市民に効果的に届けるために、どのような方法があり、どのような工夫ができるか話し合ってください。 <ul style="list-style-type: none"> 市民参加を経験したことがない人に、市民参加の情報提供、PRするならどのような方法が効果的か討議する。 紙媒体のさらなる活用、SNSなど電子媒体の活用。 討議2のアイデアをさらに深め、具体化してください。

3 市民討議会の提言のまとめ

(1) 討議1「市民参加の現場体験ーパブリックコメントにチャレンジしましょう」

討議1では、各グループにテーマ資料を配布

実際に模擬パブリックコメントを行うことで、パブリックコメントとはどのようなものかを知ってもらい、パブリックコメントを体験してみたいの印象を討議

グループ1	グループ意見
<p>【話し合ったテーマ: みんながつながる ちがさきの地域福祉プラン】</p> <p>(1) 意見、感想、疑問</p> <p>① テーマに関して</p> <p>② 制度に関して</p>	<p>① テーマに関して</p> <p>専門用語が多い／理解できない／若い人なら理解できそう／冊子を読むこと自体面倒に感じる【意見・感想】</p> <p>分厚い本を作る意味が本当にあるのか【疑問】</p> <p>② 制度に関して</p> <p>利用したことがないからわからない／参加方法がわからない／駅などに貼るとみんなの目に入るのではないか／自分に関係のないことに対して意見するのは面倒に感じる／反映されたことの事例があれば良い／反映されている実感がわからない／選択肢を提示してもらったうえでそこから決定するといったやり方なら参加するかも／正直よくわからない【意見・感想】</p> <p>意見して実際に通るのか疑問に感じる【疑問】</p>

グループ2	グループ意見
<p>【話し合ったテーマ: みんながつながる ちがさきの地域福祉プラン】</p> <p>(1) 意見、感想、疑問</p> <p>① テーマに関して</p> <p>② 制度に関して</p>	<p>① テーマに関して</p> <p>最初のページが曖昧、心に響かない／「福祉」という言葉のイメージが高齢者だけの印象。少子高齢化も、産める環境が整っていない福祉の問題である／一般的なことしか書かれていない／普段読もうとは考えない。理想よりもリアルで現実を突きつけた方が良い／情報不足。自分にできることがわかりにくい／疑問形で市民に投げかけるような表紙のほうが良い／知識がない人でも手伝えるように、自分ができることを情報から選択できるようにした方が良い／地域福祉がうまくいっている事例を参考にすべきではないか／ボランティアセンターの知名度向上を【意見・感想】</p> <p>② 制度に関して</p> <p>情報発信をした方が良い／新聞の折込みでもわかりにくい／現在の情報量だと自分が入っていいか決断しにくい／若い人は読まない（SNSを使い若者向けに）／うまく自分ができるような仕組み【意見・感想】</p>

グループ3	グループ意見
<p>【話し合ったテーマ: 茅ヶ崎市景観計画】</p> <p>(1) 意見、感想、疑問</p> <p>① テーマに関して</p> <p>② 制度に関して</p>	<p>① テーマに関して</p> <p>こういったものがあることを知らなかった／景観法についても家を建てるまでは知らなかった／景観を守ったあとのビジョン作りにもっと力を注いでほしい／若い人の意見や新しい試みのアイデアを取り入れる場が欲しい(景観保全後のビジョンがわかりにくい)／良さを伝える取り組み、教育などが必要なのではないか／都市化が進み失われていく風景が多く、そういう場所こそこうした計画で守ら</p>

	<p>れるべきでは【意見・感想】</p> <p>茅ヶ崎の景観を守ることは大切だが、それによる諸刃の部分もあるのではないかと</p> <p>【疑問】</p> <p>② 制度に関して</p> <p>条例で定められたことには賛成だが町づくり委員会では個人的、かつそれに参加する古参住民による独善的な部分もあるように思えるため悪い印象を抱く／第三者監視のような外部意見の取り入れも行えるものにして欲しい【意見】</p>
--	---

グループ 4	グループ意見
<p>【話し合ったテーマ：茅ヶ崎市景観計画】</p> <p>(1) 意見、感想、疑問</p> <p>① テーマに関して</p> <p>② 制度に関して</p>	<p>① テーマに関して</p> <p>そもそも茅ヶ崎の景観を気にしたことがない／道路が狭いので、車・自転車・歩行者が安全に通れるようにして欲しい／高齢者・子ども・子ども連れの親も安心して道路を使えるといい／自転車と歩行者は車より優先だと思っていて通行されると危ない／まちが、見た目だけでなく安心ができるような雰囲気・場所になればいい／海における景観計画も取り入れて欲しい／茅ヶ崎といたら海だが、ゴミが多い。業者が落ちているゴミを拾ってくれるけどすぐにたまってしまう／子どもの頃から自分たちのまちや茅ヶ崎の海をきれいに（保護）することを身に付ける教育があるといい／海から環境教育ができるのではないかと。ウミガメがゴミを大量に飲み込んで死んでしまっているなどの情報を市によって共有、発信してほしい／近くにゴミを管理する施設をつくるのはどうか【意見・感想】</p> <p>市民が自主的にゴミを拾うことを促すシステムをつくるのはどうか（例：子どもたちと遊び感覚でゴミを拾い、市で使えるクーポンがもらえる制度など）【疑問】</p> <p>② 制度に関して</p> <p>一般市民には計画の概要版をいきなり読まされてもよくわからない。もっと写真など視覚から訴えられるものがないとわからない／概要版ではない冊子（分厚いもの）はよくできていると思う／パブリックコメント（計画書）があること自体知らなかった。／何か目に止まるものがあつたら…／市役所の掲示板や広報紙・HP 等に掲載しても気づかない／目的や意思がないと市役所にはなかなか行かない／広報紙も読まない／駅など誰もが利用する公共的な空間でその情報を伝えればいい／ボランティアや市民活動団体などがもっと活発になって、そこからパブリックコメントなどの情報が他の市民に伝わる・渡せる場をつくることができればいい。市民と行政のつながりが増える仕組みを作って欲しい【意見・感想】</p>

グループ 5	グループ意見
<p>【話し合ったテーマ：茅ヶ崎市文化資料館整備基本計画】</p> <p>(1) 意見、感想、疑問</p> <p>① テーマに関して</p> <p>② 制度に関して</p>	<p>① テーマに関して</p> <p>興味がないと計画の中身を読まない／計画の目標が市民にとって明瞭なものではない／小学生などの社会学習の場として期待できる【意見・感想】</p> <p>計画の経費が妥当な金額なのか／誰に向けた事業計画なのか分かりづらい（外部向け？）／他地域との差異は？／入場者の見込みなどの収益と、施設の運営費のバランスをとれるのか／計画地の立地を決定した理由とは何なのか／施設までのアクセス（特にバス）が悪く利便性が低いのではないかと／若い茅ヶ崎市の北部は</p>

	<p>目的とする若者が少なく、若い利用者が増えにくいのではないか【疑問点】</p> <p>企画の対象、狙いを明確に記す／建設後の方針や運営方法を明確に記す／青少年の社会教育に特化した施設造り(イベント、ブース、展示方法)／アクセス手段の拡充をする【改善点】</p> <p>② 制度に関して</p> <p>興味がないと計画の中身を読まない【意見・感想】</p>
--	---

グループ6	グループ意見
<p>【話し合ったテーマ:茅ヶ崎市文化資料館整備基本計画】</p> <p>(1) 意見、感想、疑問</p> <p>①テーマに関して</p> <p>②制度に関して</p>	<p>① テーマに関して</p> <p>資料館があったことを知らなかった／資料に関して、新しくなるものに対して、以前とどこがどのように変わるのか比較できるものが必要。何がどう変わるか分かりにくい／地図が見にくい／もう少し文字を大きく／内容のポイントを分かりやすく／資料を見るのにもエネルギーを使う。誰も手を伸ばさない手に取らない／説明が遠まわしで結論が分からない、だから分かりづらい【意見・感想】</p> <p>② 制度に関して</p> <p>横文字(カタカナ)を使いすぎていて意味が分からない。日本語で分かりやすくしてほしい／市民が気になる「使われるお金の部分など」が書かれていない。何にどれだけ使うなど記載があると良い／市民が気になる部分を細かく具体的に書いてほしい／具体性が必要、ぱっと見て分かるようにしてもらえると助かる／視覚的にうったえる情報が必要【意見・感想】</p>

グループ7	グループ意見
<p>【話し合ったテーマ:茅ヶ崎市景観計画】</p> <p>(1) 意見、感想、疑問</p> <p>①テーマに関して</p> <p>②制度に関して</p>	<p>① テーマに関して</p> <p>茅ヶ崎らしさをはっきり明記すべき／基本理念がよく分からない／具体性がない／計画をどう進めるのか分からない／景観のいいところは伸ばすべき／若い人に考えてもらうべき／景観の事を考えるのはとてもいいこと／富士山が見える景観は守りたい／もっと住民自治にまかせてほしい／防災の面では他の町より恵まれている【意見・感想】</p> <p>茅ヶ崎らしさとは？【疑問】</p> <p>② 制度に関して</p> <p>文字が多すぎる／文字よりも具体例を多く載せてほしい【意見・感想】</p> <p>どこに成果が反映されているか【疑問】</p> <p>歩いていて楽しい町ではない／危ない道が多い／茅ヶ崎らしい景観が伝わってこない／まちぢから協議会の実体が分からない【その他の感想・疑問】</p>

(2) 討議2「参加制度を市民にうまく伝えるために—模擬パブコメをヒントに自治体とのコミュニケーションを考える」

討議2では、模擬パブコメを通じてのパブリックコメント制度に対して感じたこと、気付いたこと(利点や課題・改善点)を討議

(討議会当日は、参加の促進につながるものと抑制要因になっているものを「アクセルとブレーキ」というキーワードで議論)

グループ1	グループ意見
<p>(1) 討議1を経験しての印象</p> <p>(2) パブリックコメント制度に対して感じたこと(利点や課題・改善点など)</p>	<p>(1) 討議1の印象</p> <p>パブリックコメントについて初めて知ることが多かった／パブリックコメントに対する関心があまりない</p> <p>(2) パブリックコメント制度に関して感じたこと</p> <p>【利点 (アクセル)】</p> <p>Yes/No方式なら参加しやすい／地域の学校単位で意見を回収する／スマホやパソコンを活用する／資料に写真やイラストを多く活用する／デジタルサイネージを設置する(エレベーター内など)／映像やSNSで資料や具体的な内容を伝える</p> <p>【課題・改善点 (ブレーキ)】</p> <p>パブリックコメントの認知度が低い／「パブリックコメント」という言葉自体が理解しにくい／高齢者は電子機器を活用できない／基本的に掲示板を見ない／紙に記入すること自体面倒に感じる／関心が無いから他人任せにしてしまう／自分の意見が通るかわからない／見当違いの意見を言うのが恥ずかしい／資料の字が小さく読み辛い</p>

グループ2	グループ意見
<p>(1) 討議1を経験しての印象</p> <p>(2) パブリックコメント制度に対して感じたこと(利点や課題・改善点など)</p>	<p>(1) 討議1の印象</p> <p>パブコメを知らなかった</p> <p>(2) パブリックコメント制度に関して感じたこと</p> <p>【利点 (アクセル)】</p> <p>目安箱があるのはいいこと、電子メールが普及すればよいと思う／パブコメを通じて若者の市民参加の意欲が高まればそれは素敵なことだと思う／SNSを使用した周知方法で若者に寄っていくのも良いと思う／SNSで拾えることは調べなきゃ出ないこともある。学校などの公共施設で周知してもらえたらなと思う／SNSでパブコメによる景観変化を発信すればよいと思う／専門用語ばかりではなく絵や写真を活用してイメージをしてもらう／茅ヶ崎に根付いていくように広められれば良いと思う(横浜市民はみんな横浜市歌が歌える)</p> <p>【課題・改善点 (ブレーキ)】</p> <p>そもそも案内が届いていない、趣旨がはっきりしていない／「パブリックコメント」という語句自体がわかりにくい／何のためにパブコメがあるのかわからない／现阶段のパブコメを知っているのは年配の方ばかり。封筒で届いても中身を見ないのではないかと興味があればスルーする、関心を持ってもらわなければいけない／資料がわかりにくい／プライベートで読むものではない</p>

グループ 3	グループ意見
人数調整のためグループを解散	

グループ 4	グループ意見
<p>(1) 討議 1 を経験しての印象</p> <p>(2) パブリックコメント制度に対して感じたこと (利点や課題・改善点など)</p>	<p>(1) 討議 1 の印象</p> <p>自分から市の情報にアクセスする努力や意識を持つことも必要だと感じた。自分が住んでいるまちの情報が発信されないと…と思っていたけど、発信されていた／待っているだけではダメになっている</p> <p>(2) パブリックコメント制度に関して感じたこと</p> <p>【利点 (アクセル)】</p> <p>自分にメリットがあれば参加したい。今後の自分のキャリアになるかもしれない／自分の子どもに関係する制度に関してなら興味がある／アンケート形式だったらやりやすい。答えられやすいものだったら参加しやすい／LINE などの SNS を使って自動的に情報が送られてくるシステムのほうがいいのではないかと／広報掲示板をもっと目立つようにすれば目が止まるかも。人生で一度も見たことがない／子どもや若者が参加しているのを見るとそれ以外の大人もやる気になる、刺激される／討議会に招待されて市が私たちの意見を聞こうとしてくれている姿勢がわかった。市民と行政の距離が近く感じた／以前に住んでいたまちではこのようなことはされていなかった</p> <p>【課題・改善点 (ブレーキ)】</p> <p>そもそも市民参加できることを知らない。認知度が低い？／興味を持つ人が少ない (特に若者)／回覧板や新聞で見かけるけど興味がない。もっとワクワクするようなテーマ・内容だったらいい／パブリックコメントの計画書では、何について意見を求められているのかわかりにくい、文字のみの説明では見ない。写真やイラストがもっと欲しい／もっと的をしぼった内容にして欲しい (内容が広く、たくさんすぎる)／パブリックコメントでただ意見を集めたいのか、変えたいのかわからない／「市民参加」「パブリックコメント」というタイトルが堅い。興味がそそられない／自分たちの声がどう反映していったのかが見えない。むしろ反映させられていない？／フィードバックがあればやる気になる／自分たちの生活が良くなる実感があまり湧かない。自分とはあまり関係のない制度という感覚をもってしまう／今までの経験で自分が動いても周りの協力が得られなかった経験からあきらめの気持ちがある。どうせ自分一人が動いてもどうしようもない…</p>

グループ 5	グループ意見
<p>(1) 討議 1 を経験しての印象</p> <p>(2) パブリックコメント制度に対して感じたこと (利点や課題・改善点など)</p>	<p>(1) 討議 1 の印象</p> <p>パブリックコメント自体に興味がない／市民の意見を言えるということは良い機会だと思う</p> <p>(2) パブリックコメント制度に関して感じたこと</p> <p>【利点 (アクセル)】</p> <p>市民の意見が言えること／意見がどのように反映されたのか、されなかったのか理由を公表する／紙 1 枚にまとめて PR／仕事をしている人のために、駅や病院など待ち時間が長い場所で PR する／LINE で茅ヶ崎市公式アカウントを作成し情報が個人に届きやすくする／PTA、子供会、老人会などコミュニティに働きかける／年代別で情報発信方法を使い分ける／個人を集団に結びつける働きかけをやることで、市民参加に結びつける</p> <p>【課題・改善点 (ブレーキ)】</p> <p>市の広報や HP で、興味を惹くような工夫がなされていないので取組む気にならない／広報紙内の情報量が多くて、パブリックコメントの中身まで読まない／無駄な情報が多い／社会人は目を通す暇な時間が限られている／参加動機がないと市役所のイベントや企画に参加しようと思わない</p>

グループ 6	グループ意見
<p>(1) 討議 1 を経験しての印象</p> <p>(2) パブリックコメント制度に対して感じたこと (利点や課題・改善点など)</p>	<p>(1) 討議 1 の印象</p> <p>計画の目的・狙いが分からないので意見が言いづらい／分かりやすく条例を書いてほしい／パブコメが HP にあることを知らなかった、勉強不足だと感じた→意見が言える立場にないと思った／パブコメの制度自体は良いがもっと市民が入りやすいものにしてほしい／パブコメ自体知らない、また知られていないと思う→資料を読んで意見を言うのはハードルが高い／誰でもパブコメを行っていいのかわからなかった (18 歳以上などの制限があると思っていた)。制限がないのであれば小中学校などで教えるのも方法なのではないか／若者に対しての周知が足りない</p> <p>(2) パブリックコメント制度に関して感じたこと</p> <p>【利点 (アクセル)】</p> <p>ちゃんと意見が反映されて変わる実感が持てると周知につながるのではないかと結果も含めて分かるようになると良い／ゲーム性を持たせる、参加する面白さを持たせる (ポイント制とかあると面白い) / 「ロコミ」は生活の中にある。地元のネットワークによってパブコメがあると良い、ロコミでこんなことやってるよ! みたいな／スーパーのレシートにパブコメをつける／資料もミスコンのポスターのようにインパクトがあって目に付くようになるとみんな見る／プラン (計画に) ABC などの幅を持たせてそれに投票+意見が言える手法なら入りやすさにつながる／資料を読むこと自体もハードルが高い。やって変わるところまで分かって、次につながるというのが見えれば入りやすさにつながる／パブコメ自体は市のことを身近に感じることができる。意見を出して良いのだと思えた／市民の意見を反映・声を届ける良い機会があるのは良いこと／情報を知らせること、参加のしやすさが必要／茅ヶ崎駅やバス停などに QR コードをつけて読み込めるようにし</p>

	<p>ておくも若い人もやりやすい（これも分かりやすくしておく）／単純な言葉の呼びかけがいい／パブコメも突然意見を書くのではなく、最初に YES or NO とし、次の段階で意見を書きたい人という手順が良いのではないか（二段階ぐらいのステップにしておく）。アンケートっぽくすると入りやすい</p> <p>【課題・改善点（ブレーキ）】</p> <p>公民館や市役所などの階層の深いところには普段いかない／HP をまず見ないので使いづらい／できる限り目立つところに情報がほしい（スマホで簡単に見られるものなど）／パブコメは面白さやメリットがないとやらない／「パブリックコメント」という言葉では分からない。「目安箱」、「意見箱」なら分かる／高い意見を求められている気がする／パブコメで聞きたいことが分かりやすく単純に整理されていると分かりやすい／小さい字で「何条」と書かれても分かりづらい</p>
--	---

グループ 7	グループ意見
<p>(1) 討議 1 を経験しての印象</p> <p>(2) パブリックコメント制度に対して感じたこと（利点や課題・改善点など）</p>	<p>(1) 討議 1 の印象</p> <p>パブコメがあるのはいいこと／パブコメに色々な意見があってよい／具体的に説明してほしい</p> <p>(2) パブリックコメント制度に関して感じたこと</p> <p>【課題・改善点（ブレーキ）】</p> <p>学校でパブコメについて知る機会を設けてみてはどうか／駅に宣伝(チラシなど)／パブコメの意味が分からない／市役所に伝えているが通らないのが不満／意見箱をかわいくする／もっと参加しやすい方法がよい／やり取りが行える場所がほしい／市民の目に届きやすい場所で宣伝／透明化すべき／子供の気づきも大切／パブコメを知らないのが問題</p> <p>【その他】</p> <p>討議会をもっと開催すべき／議員さんに連絡しづらい／討議会をもっとオープンな感じにしてみてもいい？</p>

(3) 討議3「市民の心に響く情報伝達の仕組みにむけて—効果的なPR方法の提案」

討議3では、自治体の取り組みや情報がどうしたら市民に届くか、情報伝達の方法においてどのような工夫ができるかを議論

グループ1	グループ意見
人数調整のためグループを解散	

グループ2	グループ意見
<p>(1) PR方法の工夫(媒体など)</p> <p>(2) どのように工夫すると情報発信がより効果的になるか</p>	<p>(1) PR方法の工夫 目安箱/ポスター/地域無線/アンケート/ラジオ/コンビニのレシート/コミュニティバスで広告/神奈中のかなちゃんを活用/LINE/動画/教育</p> <p>(2) 情報発信がより効果的になるには 電車や駅を利用しないのでコンビニやスーパーなど普段の日常生活で使う場所にあるといい/掲示板にあってもあまり見ない/字を大きく、イラストを多くすれば目に留まるのではないか/「あれなんだろう」と思えるような目安箱の設置(デザイナーが作成した箱なら入れてみようかなとなるかも)/パブコメを知ってもらうポスターをもっと目に留まるように大きく貼る/子どもたちにパブコメのポスターを作らせてみる/小学生の書いたポスターは目に留まる/言葉の意味を知ってもらうのが第一/地域無線で告知/えぼし麻呂のようなゆるキャラを活用してアンケートをする/防災無線、ラジオの設置/駅を利用する人向けに階段やエスカレーターの壁にポスターを貼る。(絵をメインに)/白黒よりもカラーのほうがいろんな世代の方にも見やすい/学校を通して子どもから大人へ伝える/小学5・6年生に市の取り組みについて話し合う機会を与えれば親にも伝わり自身の関心も高まるのではないか/教育機関経由で、義務教育化/討議会の傍聴者を募集する/バスの中より外/LINE アカウントをフォローするとスタンプがもらえるといったような特典感覚で知ってもらう。だが、一度きりなのかなといった気もする/どこの年齢層を狙うかターゲットを絞る/定期的に面白い動画があればフォローするかも/いかにこれまで出た意見を市が活かしてくれるかが大事。反映されなければやる人は減る</p>

グループ3	グループ意見
<p>(1) PR方法の工夫(媒体など)</p> <p>(2) どのように工夫すると情報発信がより効果的になるか</p>	<p>(1) PR方法の工夫 SNS/年代や性別をまたいで誰でもわかるものを目指すべき/お祭り/四コマ漫画/ロコミ</p> <p>(2) 情報発信がより効果的になるには 活動はすぐには結果が出ないものが多く、市民の意見が反映されたのかどうか分かりづらいことが問題。討議会のような場に行ったら市民がその体験を伝えることが理解に繋がるのではないか/なにかのついでで参加できる、知ることのできる仕組みにする(例:お祭りで一緒にやる)/年配の方や子ども連れ、働き盛りの成人でも参加しやすい討議会をしてほしい(時間の短いもの、公園で行う、平日は避けるなど)/SNSの積極的な利用/高校生だけの討議会を行う/四コマ</p>

	漫画化する／主婦のロコミを利用／市民が体験できると伝わりやすいのではないか／まずはターゲット層を絞ることも一つではないか／参加のために体験できる機会を増やすことが大切ではないか
--	--

グループ 4	グループ意見
<p>(1) PR 方法の工夫 (媒体など)</p> <p>(2) どのように工夫すると情報発信がより効果的になるか</p>	<p>(1) PR 方法の工夫</p> <p>自治体の市民集会／自治体のイベント、定期的な集会での PR／市からの情報提供／LINE のアカウント (茅ヶ崎公式アカウント) ／Facebook での PR／神奈川新聞に掲載してもらおう／茅ヶ崎 Walker で PR／</p> <p>茅ヶ崎の天気予報と一緒に告知してしまう。天気予報は若者から高齢者まで誰もがアクセスする情報、そこに一緒に載せれば、嫌でも目につくのではないか／茅ヶ崎の公式アプリをつくって、茅ヶ崎のローカルな記事 (食べ物や天気など) と一緒に市民参加のことも PR してしまう</p> <p>(2) 情報発信がより効果的になるには</p> <p>スマートフォンを使って情報にアクセスできるようにする／みんなが毎日触れる情報 (天気予報、食べ物、健康づくりなど) と一緒に PR することが必要／行政のサービス精神の質を向上することが必要／今のままでは積極的な市民しか参加しない／いかに市民が普段の生活で自然に市への参加の情報に触れられるかは、市の情報提供の仕方にかかっている</p>

グループ 5	グループ意見
<p>(1) PR 方法の工夫 (媒体など)</p> <p>(2) どのように工夫すると情報発信がより効果的になるか</p>	<p>(1) PR 方法の工夫</p> <p>【IT】</p> <p>SNS (LINE など) による情報発信／HP の見やすさを改良／テレビのデータ放送／ゲーム感覚で取り組めるアプリ</p> <p>【宣伝活動】</p> <p>人が集まる場所 (病院など) でのポスター掲示／アロハビズで宣伝／大きな広報のぼりの作成／広報紙の見やすさを改良、必要な情報を簡潔に／回覧板</p> <p>【イベント】</p> <p>商業施設 (AEON) などの体験型イベント／祭りでパブリックコメントブースを設置／参加率の低い若い世代を狙った討議会の開催／フィルムコミッションで PR／駅伝で PR／飲食店とタイアップ</p> <p>【返礼】</p> <p>子供、親向けの「えぼし麻呂」グッズ参加証プレゼント／ポイント還元／参加証明書の発行／商店街等で使える参加賞のクーポン</p>

グループ 6	グループ意見
<p>(1) PR 方法の工夫 (媒体など)</p> <p>(2) どのように工夫すると情報発信がより効果的になるか</p>	<p>(1) PR 方法の工夫</p> <p>まちの中で話し合う機会や場所の提供／茅ヶ崎市民への情報提供の場所／目安箱／スーパーにおいてあるチラシのようなもの／回覧板／タウンニュース／QR コード／横断幕、のぼり／動きがあるもの、動画やスライドする画面／えぼし麻呂が PR する／ラジオ／SNS／LINE の公式アカウント</p> <p>(2) 情報発信がより効果的になるには</p> <p>世代、人によって情報発信方法を考えないと周知は難しい／オープンな場所で参加型の場所があると良い／駅に目安箱を常設する／目に留まりやすく、手に取りやすい、身近に感じる／スーパーなど毎日行くようなところに置く／持ち帰れる紙だと良い／回覧板にパブコメ用紙を入れ一人 1 枚、取って書けるようにする／図書館や美術館、学校にもお知らせを張る／歩道橋のところの横断幕にお知らせがあれば目に留まる／字が大きいと目立つ／動きがあるものは目にとまる／お知らせに関連する絵を入れる絵が入っている／タイトルなどをキャッチーに、呼びかけるように／「～しようよ！」など柔らかいメッセージにする／行政の言葉 (用語) だと自分たちでやろうとは思にくい／学生にキャッチーな言葉を考えてもらうのも良いのではないか／目にも耳にも入るようなものなら分かる／いきなり文字たくさんは引いちゃう／読もうと思わない／冊子は見ない／内容が 1 枚にまとまっていると良い／簡潔に書いてあると良い／えぼし麻呂や市長が直接情報発信してくれると身近に感じる／スマホで教えてくれると助かる／HP だとアクセスしても分からないから SNS で発信してほしい／LINE で情報が届くようにしてくれると助かる／防災放送が流れるラジオがあるから、それにプラスして情報発信チャンネルをつくる／出入り自由な常設サロンをつくる。そこに行けば市の情報がおいてある、何をやっているか教えてくれる場所／駅に観光協会の場所があるなら茅ヶ崎市民用の情報スペースがあってもいいと思う／情報が限られたところにしかない (あまり行かない場所) / 掲示板もあまり情報になっていない印象</p>

グループ 7	グループ意見
<p>(1) PR 方法の工夫 (媒体など)</p> <p>(2) どのように工夫すると情報発信がより効果的になるか</p>	<p>(1) PR 方法の工夫</p> <p>アンケート／SNS／目安箱</p> <p>(2) 情報発信がより効果的になるには</p> <p>アナログな方法 (紙媒体) / 謝金のあるアンケート / 自転車に乗っている人でも目に付く掲示板 / 無料スタンプ / 人が多いところで情報を発信 (デパートなど) / 分かりやすい言葉 (子どもでも分かる)</p>

(4) 参加学生の感想と意見

文教大学・国際学部生

市民討議会の印象・感想

- ・比較的若い世代の方が多かったが、世代の違いも関係なく意見を述べていた印象がある
- ・若い人の参加率が高くて、様々な目線からの意見がたくさん出たと感じた
- ・若年層の方の意見は重要だと感じた
- ・年齢や性別も関係なく、意見がよく出ていたので、お手伝いさせていただいてとても有意義な体験だった
- ・今後も、多様な世代の方が集まるようにすべきだと思う
- ・長く暮らす高齢の方の意見と若い方の意見がうまくまとまり良い発表になっていた
- ・自分の班では、JCの方が上手くリードしてくれて、市民の方も積極的に意見を出してくれて、議論が盛り上がっていた
- ・積極的に参加をして地域のことを意識し、どのようにしていきたいかという願望を聞くことができ、これらが少しでも反映されるのであればとてもいい機会だと思う
- ・最初は、市民の方が緊張しているように見受けられましたが、討議を重ねるごとに話し合いが弾んでいくようにも見えた
- ・「何を聞かれているのかわからない」「趣旨がわからない」といった方も多くいらっしゃったので、書記の文芸生も進んで話し合いのサポートができたのが収穫の一つだった
- ・個人的に、今回の討議会は意見を多く出す人とそうでない人の差が大きく出てしまったと感じ発言の少ない人にうまく話しを振る重要性を感じた
- ・前半は参加者の方もかなり熱が入っていて好感触だったが、長時間の討議でだんだん集中力が切れてきてしまった方もいて、後半は討議が難航する場面があった
- ・パブリックコメントについての知識がなかったことから、改めてパブリックコメントをどのようにして市民の方に知ってもらえるか、知ったうえで「積極的に活用」してもらえるか、適切な方法を考えなおす必要があると感じた
- ・二度目の参加の方もいて驚いた。仕事は市外で茅ヶ崎は寝るだけといった方が多かった

市民討議会の重要性

- ・市の政策について改めて考えたり知ったりすることができる場であると同時に、世代の違う人と意見を交わすことができる場としても重要だと考える
- ・年代や性別の垣根なく討議に参加できる為、討議を通して参加者の方々の中に新たな気付きや見方が生まれるのではないと思う
- ・市民の方で、普段思っても口にできない（話す人がいない）方が、自分の思っていたことや経験などを多く話してくれて良かった
- ・普段声をあげられない市民の方が意見を言うことができるというだけでも重要だと思う
- ・「難しいこと、やったことないことはやりたくない」という方はたくさんいると思うので、そういう意味で知らない方と話し合い、意見をぶつけ合うことができる場はとても貴重で良い経験だと思う
- ・仕事がなかったから来たという方も多くいた為、そういう方にも参加しやすい場だと思う
- ・意見を聞く、共有する場としては、いいものではないかと思う。市民から直接的な意見が聞けるのが良い。ただし、市民の意見が行政に反映されているかがうまく市民に伝わらないと、市民は重要性を感じられないのではないか
- ・市と市民のかかわりを認識し、深めることができる

- ・市民参加について、市民討議会も市民参加のひとつだと言っている人がいたので、話し合う場として必要だと思う
- ・老若男女様々な方が一か所に集まり、自分の意見を話し合う場は日常生活にないものだと思う。市民討議会は、市民同士の相互理解を深めるためにも、今後も積極的に行っていく必要がある
- ・貴重な機会である。ただし、市民の声が出てきやすいテーマにする必要がある。今回は、議題が難しく、内容理解が厳しかったと思う
- ・パブコメの認知度はとても低く、周知が足りていないことが理解できた
- ・討議会に参加することで市政の取り組みを知ることでもでき、知ることに関心を持ってもらうことができると感じた。パブコメについて知らなかったという声が多かったので、そういった行政について関わるための仕組みについて知ってもらいたい機会になったのではないかと
- ・市民同士が美味しいお店などの情報交換をしていて交流の場になると改めて感じた

市民討議会の運営・企画について

- ・高校生も参加していて、若い人にも市民参加の重要性を感じてもらえるチャンスだった。ファシリテーターの重要性を感じた
- ・市民参加の話をしている為、積極的な討議への参加を促すよう、進行に配慮すべきだと思う
- ・参加者の緊張をほぐすことは討議会においてとても重要なことだと思う。この意味で、アイスブレイクを設けたほうが良いと感じた
- ・おでんネームなど、話し合いを円滑にするための緊張をほぐす自己紹介は継続すべきだと思う
- ・会場内にゴミ箱の設置をお願いしたい。また、スタッフ内で連携を取り進行内容の把握と共有をしておくとうスムーズな討議になると感じた
- ・討議に入る前の説明を簡潔にすることが、参加者の討議内容の分かりやすさにつながると感じる
- ・討議会は要望だけを話す場ではない為、参加者に分かりやすいテーマや内容を設定、整理する必要があると感じる
- ・JCの方は会話する能力が高いので、事前準備をしっかり行えば、討議会の成功につながるのではないかと感じる
- ・スタッフ内でルールやマナーを考え、共有しておいても良いと思う
- ・班ごとの人数を調整して、全部の班が同数で討議できたのはよかったと感じた
- ・市民の方からこういった場が増えるといいという意見があった。いろんな場で討議会が増えるといいなと感じた。また、文教・JC・市役所がさらに良い連携をとれば、当日のスタッフ間のコミュニケーションにも良い影響が出ると思う

4 アンケートの結果

(1) 事前アンケート (※無回答、重複回答の設問があったため、合計回答数が必ずしも一致しない)

【参加者の属性について】

設問 1, 職業		
①	農業・漁業	1
②	自営業・経営者	0
③	自由業	0
④	家事手伝い	0
⑤	公務員・団体職員	1
⑥	専門技術職	3
⑦	事務職	2
⑧	販売・サービス職	1
⑨	製造・労務職	1
⑩	パート・アルバイト	5
⑪	家事専業	5
⑫	学生	4
⑬	無職	4
⑭	その他	3

設問 2, 家族形態		
①	単身	2
②	(自身の)夫婦のみ	9
③	未婚の子どもと同居	9
④	既婚の子どもと同居	1
⑤	親世代と同居	10
⑥	三世代以上が同居	1
⑦	その他	0

設問 3, 住居形態		
①	持ち家 (戸建)	19
②	借家 (戸建)	0
③	集合住宅 (分譲)	6
④	集合住宅 (賃貸)	6
⑤	公営住宅	1
⑥	社宅	0
⑦	その他	0

設問 4, 市内での居住年数(⑥については重複可)		
①	1年未満	0
②	1年～5年未満	4
③	5年～10年未満	5
④	10年～20年未満	4
⑤	20年以上	13
⑥	生まれてからずっと	7

設問 5, 茅ヶ崎での定住の意向		
①	住み続けたい	9
②	できれば住み続けたい	10
③	できれば転出したい	3
④	転出したい	0
⑤	わからない	9
⑥	その他	1

設問 6, 平日の平均在宅時間(睡眠時間を除く)		
①	2時間未満	0
②	2～4時間未満	8
③	4～7時間未満	14
④	7～12時間未満	5
⑤	12時間以上	5
⑥	その他	0

設問 5, ⑥その他		
・周辺の市と比較して決定する		

【参加の動機について】

設問 7, 市民討議会の手紙(参加依頼)が届いて、どのように感じましたか		
①	面白そう	13
②	良い取組み	7
③	新しい取組みへの期待	7
④	選ばれてよかった	3
⑤	なぜ討議をするのか不明	3
⑥	実際に何をするのか不安	8
⑦	つまらなそう	0
⑧	とくに感想はなかった	3
⑨	その他	3

設問 8, なぜ討議会への参加を決意しましたか		
①	討議会が興味深かった	11
②	テーマが興味深かった	3
③	日程的に都合がよかった	5
④	市のために協力したかった	7
⑤	市民の役割として大切だと思った	13
⑥	新しいことにチャレンジしたかった	3
⑦	市から手紙が届き参加しなければなら ないと思った	4
⑧	日頃から市に言いたいことがあった	2
⑨	その他	1

設問 7, ⑨その他	
<ul style="list-style-type: none"> ・自分が役に立つ ・また? (2回目) 	

設問 8, ⑨その他	
<ul style="list-style-type: none"> ・就活に活かしてみたい ・特になく、なんとなく 	

設問 9, 謝礼の必要性について、どのようにお考えですか		
①	必要だと思った(参加はするが 必要と感じた)	10
②	不要だと思った	11
③	その他	7

設問 9-1, 【設問 9】で①を選択した方は、どの程度の謝礼が望ましいと思いますか		
ア	謝礼 1000 円	3
イ	謝礼 3000 円	0
ウ	謝礼 5000 円	3
エ	謝礼 10000 円	2
オ	謝礼品 1000 円程度	1
カ	謝礼品 3000 円程度	2
キ	謝礼品 5000 円程度	0
ク	謝礼品 10000 円程度	0

設問 9, ③その他	
<ul style="list-style-type: none"> ・交通費は必要だと思いました (4件) ・交通費等として2000円程度 ・会議の内容とその実用性をどの程度に考えているかによる 	

(2) 事後アンケート (※無回答、重複回答の設問があったため、合計回答数が必ずしも一致しない)

設問1, 今回の市民討議会について感想や印象をお聞かせください		1	2	3	4	5
		そう思う	どちらかと言えば	い	どちらかと思わない	そう思わない
A	市民討議会はおもしろかったですか	15	14	1	0	2
B	討議の進め方はわかりやすかったですか	8	15	2	5	2
C	進め方に関する説明は十分だと思いましたか	7	19	1	2	3
D	討議1のアイスブレイクで話しやすくなりましたか	10	18	2	1	1
E	各回の情報提供で、討議がおこないやすくなりましたか	6	15	7	3	1
F	討議1のテーマは、話しやすかったですか	8	7	7	6	4
G	討議2のテーマは、話しやすかったですか	12	12	4	2	2
H	討議3のテーマは、話しやすかったですか	11	10	3	5	1
I	討議を通して自分の考えは深まりましたか	13	15	2	1	1
J	グループ発表は、全員の意見が十分反映されましたか	14	15	2	1	0
K	各班の討議報告で、他の参加者の意見がわかりましたか	18	11	0	3	0
L	市民討議会は市民の声を反映されるのに有効な手法と感じましたか	13	11	5	1	2
M	討議に参加して、市民が「まちづくりの主役」という印象が強まりましたか	9	13	8	1	1

設問2, グループごとの話し合いは、円滑に進みましたか		
①	円滑に進んだ	17
②	やや円滑に進んだ	10
③	どちらとも言えない	3
④	やや行き詰まったときがあった	2
⑤	何度も行き詰まった	0
⑥	その他	0

→どのようにすれば、より活発な討議が出来ると思いますか。下欄にお書きください。

同世代の人がグループにいると安心できます/友達と来られたら、おしゃべり感覚で意見をたくさん出せると思います/とても良い討議ができたと思うので問題は無かったです/もう少し討議の議題や進行に情報や前提があった方が良いのでは/司会の方がスムーズに各人へ問いかけを行ってもらう/実行委員の方がファシリテーターをやって下さったほうが円滑に進みました/具体的な文題で論議した方が良い/グループ内に司会役(主催側)が必要。いらっしゃいましたが、もう少し進行して欲しい気もした/学生が協力的で非常に良かったです/やはり若い方が話しづらそうだったので、もっと聞いたら良いと思った/一人ずつ意見を発表して、全員で話し合うと良いと思います。意見を発表しづらい性格等もあると思うので、誰でも発表できる場にする/アイスブレイキングする/討議をする人全員が、その討議内容に関して自由に言いたいことを言いまくり、その中でいいと思ったことだけ紙に書けば良いと思う/興味の湧くような話題(例食べ物温泉等)を込められると活発になると思います

設問 3, 討議の際、1つのテーマについて平均して何回くらいお話しされましたか		
①	10回以上	5
②	7～9回	5
③	4～6回	10
④	1～3回	10
⑤	0回	0
⑥	わからない	2

設問 4, 市民討議会ではじめて顔を合わせる他の市民との会話について、どのように感じましたか(〇はいくつでも)		
①	さまざまな考え(発想)が聞ける楽しさ	21
②	さまざまな世代の意見が聞ける楽しさ	26
③	同じ茅ヶ崎市民としての共感や連帯感	8
④	はじめて会う人との会話における抵抗感	2
⑤	意見を言うのになれておらず、話しにくい感じ	5
⑥	その他	0

問 5, 今後、同様に市民討議会の案内が届いた場合、何を条件に参加を決めますか		
①	日程	25
②	内容・テーマ	14
③	謝礼の有無と金額	3
④	案内があればぜひ参加したい	13
⑤	条件を問わず参加しない	1
⑥	その他	1

設問 5, ⑥その他	
・ 討議した内容が実際に反映されるか	

設問 6, 市民討議会に参加して、謝礼の必要性について、どのように思いましたか		
①	必要	13
②	不必要	16

設問 6-1, 【設問 6】で①を選択した方は、どの程度の謝礼が望ましいと思いますか		
ア	謝礼 1000 円	5
イ	謝礼 3000 円	1
ウ	謝礼 5000 円	4
エ	謝礼 10000 円	0
オ	謝礼品 1000 円程度	2
カ	謝礼品 3000 円程度	0
キ	謝礼品 5000 円程度	1
ク	謝礼品 10000 円程度	0

設問 7, 今後、市民討議会をはじめとした市民参加(市政への参加)について、どのようにお考えですか		
①	積極的に参加したい	5
②	案内があれば参加したい	25
③	参加しない	4

設問 7, 【3 参加しない】と選択した方→それはなぜですか	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 73歳の高齢のため、長時間の会議はつらい ・ このような議論なら時間の無駄 ・ 今回テーマが少し難しく感じた。意見を求められとまどった ・ 人前に立つのは苦手 	

設問 8, 今後、市民参加で市と協力してまちづくりをしたほうがいいと思う分野はどれですか					
①	自治体の運営・仕組みの整備	15	⑨	土木・基盤整備	10
②	安全・安心	16	⑩	下水道・河川	10
③	産業・雇用	8	⑪	地域保健・公衆衛生	12
④	生涯学習・文化	12	⑫	医療	10
⑤	福祉	15	⑬	消防	8
⑥	子育て	11	⑭	学校教育・社会教育	13
⑦	環境・資源	17	⑮	その他	2
⑧	都市づくり	9	⑯	特になし	1

設問 8, ⑮その他
・学校のいじめ

設問 9, 本日の討議を振り返って、今後、市民参加の輪を広げる（新たな参加者を増やす）ために、最も重要だと思ったのはどのようなことでしたか

討議会があることを多くの人に知ってもらう／自分が役立っているという気づき／情報の出し方、届け方と feedback／今のパブコメの届け方だと結局みられていない／民間のサービス業の考え方を取り入れて欲しい／茅ヶ崎市に興味を持ってもらうこと（どんな事でも）／情報発信／若者の認知を増す／18～29 歳くらいの会議があっても良さそう／アプリや SNS を利用して発信、アンケート（ポイントがたまるなど）回答ができればと思います／市民参加の様々な取組みがあることを、今日参加して初めて知りました。各世代や属性によって見ている情報媒体は様々です。一つ一つの効果は少なくとも、まずは色々な手法で「市民参加」の存在を周知させると良いのでは？と思いました／とにかく広告量、認知度の向上／参加の口コミ／市民がこのような形で参加出来る仕組みがあることを一人でも多くの方々に知ってもらうこと／市民参加が盛り上がることで実現する成果やイメージを分かりやすく伝えていくこと。より身近なものに感じてもらいたい。どんなことに貢献できそうか理解できることでしょうか／市民各人へ行政へ参加するという意識づけ。日常的に市政にふれあうきっかけがもっと必要だと思った／情報発信をしていくこと。やはりまだ認知度が低いと思うので、制度の存在自体をより多くの人に伝えることが大切だと思います／市民目線で／討議自体をもっと市民の方に知ってもらう必要があると思いました／曜日、時間帯／今日市民討議会が行われること自体、知っている市民がいるのでしょうか？市役所で行うのであればもう少し宣伝しても良いのでは？市役所の入口に看板を置いてみるか・・・。次回は参加したいなとか思う人もそうすることで出るのではないのかなと思いました／各世代に合わせた情報発信方法／市民討議の今テーマになっている事や前回話題になっている事の報告など参加の方法などの告知を「茅ヶ崎テレビ」を通じてお知らせするのは良いアイデアだと思います／コマーシャル、SNS 等で発信と同時にスーパーや駅でのコマーシャルが必要では？／日程をわけて行う（複数回）／この様な取り組みがある事を周りの人たちに伝える／たくさんの意見やアイデアがありましたが、市の取組みが反映されたらきっと参加者の達成感につながると感じました。同じ市民の思いを伝え合うことは意識を高めるために必要なことだと思います／自分が討議 1 のテーマの時、リーダーとして市民全員の前でしゃべって、自分も真剣にしゃべって、市民も全員真剣に結論を聞いてくれて、それが最も新たな参加者を増やすために自分もうれしかったし、最も重要だと思った／本日の意見が行政に反映されたら、近所の人たちにも推進できると思った。若い人たちとの意見交換も良かったです／「自分（市民）の意見を伝えることができる場所」ということを知ってもらうこと。対象者別に工夫した PR をすること／市民に分かりやすく宣伝する。バスターミナルの上のデッキの時刻表の隣など。SNS、ラインなど／若い人の意見も大事だと感じました

設問 10, 市民参加について本日の討議の中で思ったこと、感じたことなどありましたら自由にお書きください

思っていたより話しやすく、意見を聞いてもらえて良かったです／今回の討議は確実に市民参加の輪を広げるが、あまりに草の根すぎて時間がかかりそう。また、バス広告とかラインなどで手法の話が多くもつと本質的（どうやって手間を減らす気持ち良く参加出来るのか）な部分を掘り下げるべき。ご苦労様でした／個人的には良い経験をさせていただきました／楽しかったです（3件）／市民討議会の意見や要望がどこを見れば反映されたか知りたい／今日の出席者の年齢層が予想以上に若かった。将来の茅ヶ崎を考えている若者がたくさんいたこと。ちなみに私は74才／休日に6時間の市民討議は長すぎる。2テーマぐらいでどうだろう？／文章などが固く、つかみにくい感じはあった／色々な市民と関わる事ができ意見交換をできたのは良かった。また自分の年齢でも同じ価値観を持っている人がたくさんいてくださり、安心した気持ちも持ちました／「市民参加」のことを知っていたかどうかのアンケート結果など、世代別での割合といった表示をすることで見えてくるものがあると思います。アンケート結果をもっと分析すると良いのではないのでしょうか？その方がこちらもより色々と考えられそうです／有効なのでもっと回数を増やす。夏休みに高校生のパブコメの機会を作る／最初の説明、挨拶が長い。「市民討議会」なのに討議がスタートしたのは10:50頃だった。長くても30分以内に短縮すべき／特にありません。がんばってください／多くの立場、年齢の方の考えを知ることができた。討議をスムーズに進めることの難しさ。討議前のアイスブレイクをもう少ししたほうが打ち解けたかもしれない／いろいろな意見が聞けて、自分の勉強にもなりました。機会がなければ、足を運ぶこともなかったですし、自分の意見も聞いていただけて良かったです／市職員の無能さを感じる／討議内容と脱線して話をしている方がやはりいらっしゃるので時間的にももう少し欲しいと思いました／テーマが難しく感じ、意見を言いづらかった。茅ヶ崎の教育についてや医療についてなど身近なものであれば討論しやすかったのかなと感じました。より茅ヶ崎が良い町になることを願っております／まだまだ知らないことがあり、今日知ったことが多くあったことに驚いた。積極的に参加しているつもりでしたが、まだまだ知りえない情報をぜひ多くの媒体を使って発信してほしいと思いました／文教大学の学生たちがまじめに取り組んで下さっていて有りがたいし、心強いなあと感じました。ありがとうございました／皆さん、色々な意見を持ってらっしゃると思いました／難しいと思いました／リーダーにより話しの流れが変わると感じました。誰がファシリテーターをつとめるかで結論が変わるように思いました。興味深い体験でした。ありがとうございました／討議中もみんなの前で討議内容の発表もすごく緊張しました。この討議はきっと茅ヶ崎市の今後に役立つと思いました。「人それぞれ色々な意見があるんだな」と自分は思いました。とても疲れました／楽しかった。自治会等の活動で行政に期待することは無いな～と思っていたが、参加により考えが変わった。もっと沢山の人が参加し、意見を出し、少しの幸せを感じられるように住みやすい街づくりをして欲しい／集まった時点で参加者側の想像していた討議の方向性と企画側の用意された内容の方向性に一部ズレがあったと感じた（今回の「自分たちが市民参加をしながら、市民参加について考える」というテーマに複雑さがあったことも一つの要因かもしれない）最初の説明の時点で討議1～3を通じてどのような流れで話していくのかを提示した方がよいのではないかと思った（特に討議1のときは何について意見交換をしたらよいのか、初めはよくわからなかった）／若い世代の人たちと意見を交換できたのは良かったです。意見を書く欄が大きすぎてプレッシャーを感じます／予想以上に面白かったです

(3) 不参加者アンケート 30年度市民討議会不参加者アンケート集計(495名回答)

(※無回答、重複回答の設問があったため、合計回答数が必ずしも一致しない)

設問1 年代		
①	20歳代以下	90
②	30歳代	107
③	40歳代	94
④	50歳代	74
⑤	60歳代	60
⑥	70歳代	38
⑦	80歳代	25
⑧	90歳代以上	3
無回答		4

設問2 性別		
①	男性	174
②	女性	299
無回答		22

設問3 市民討議会について、知っていましたか		
①	よく知っている	3
②	少し知っている	34
③	言葉を聞いたことがあった	106
④	初めて知った	348
無回答		4

設問4 茅ヶ崎市市民討議会の案内が届いたとき、どのように感じましたか (複数回答可)		
①	面白そうに思った	111
②	不思議に思った	199
③	分からない	142
④	その他	42

設問4 その他④
<p>市民に役立つ実りのある討議になりますように／市民の声が届いて良いと思った／いいと思います／時間があれば出席(参加)したいかな?／茅ヶ崎市民の一員という実感がして嬉しかった／いいことやっているなと思った／夫がすばらしい取り組みだと言っていました／歳をとっていなかったら出席したい／運がいい</p> <p>面倒な予感しかなかった／今年1月に転入したので、よくわからない／何を目的として開催しているか不明／ほとんどこの様なことをやる意味を見い出せない／以前にも同じものが届いたので無作為抽出なのにまた?と思った</p> <p>今までの市民討議会の成果が分からないので簡単なものでも添付してほしかった／2200人送って募集が40人意味が分からない／会議よりもアンケートを多用したらどうか</p> <p>なぜ自分にこんなのが?と思った／何で私にとびつくりした／戸惑った／特に何も感じなかった／このご時世、色々届きますので、まず疑いました／何だこの封筒は?と思った／どうして高齢の私に?と思った／情報がないためどのように選出したか気になった／驚いた(2件)／詐欺かと思った／特に何も／すこしビックリしました／なぜ私に?と思いました／何とも思わない</p> <p>市民集会の参加したことがありますので意識があるように思いました／市民の声を反映させる場がある事を知った／市民討議会があるのが知らなかった／そういう会があるんだなと思いました</p>

設問5 スケジュールについて (複数回答可)		
①	終日では長時間に感じる	206
②	終日時間を費やすことはできない	176
③	土・日曜日は都合が合わない	87
④	今回は都合が合わない	190
⑤	その他	40

設問5 その他⑤	
<p>気持ちの余裕がない／歩行困難のため（2件）／腰痛のため1時間以上座ってられない／そもそも面白味を感じない／体が動かない年齢はダメ／参加するつもりはない／興味がわからない／サービス業の為、土日は参加できません／余暇を取られたくない／家族、実家の介護の為、時間を作るのは難しい／問題なしOK／テーマによって時間は変えるなど／分からない／忙しい／半年分の議事録を以前に公表し、その効果も公表すべき／障害があり、このような会に長時間参加できない／今は親の介護があるので参加出来ません／都合が合えば参加したかった／茅ヶ崎の事をいろいろ考えることは良い／腰痛のため／幼い子供がいるので終日参加は難しいです／子どもがいるため時間がつくれない／病気のため（5件）／前回のタイムテーブルを見てみたい／一人で外出できない／午前中が良い／海外在住の為</p>	

設問6 今回参加されなかった理由は何ですか。 (複数回答可)		
①	日程が合わなかったから	270
②	興味のないテーマだったから	58
③	行政の事業には興味がないから	22
④	面倒だから	106
⑤	謝礼がないから	38
⑥	その他	134

設問6 その他⑥	
<p>時間・気持ちに余裕がない（2件）／土日は終日参加できない／貴重な休日が潰れてしまうから（2件）／在宅介護中（7件）／体調不良のため（15件）／通院中のため／障がい者のため、理解が出来ない（4件）／付き添いを必要とするから／出産を控えているため（5件）／子どもがいるため（14件）／2歳未満の託児サービスがないため（0歳の子がいます）／子どもが小学生とはいえ、終日親が家を不在にすることができないから／仕事していて、つかの間の休みだから子どもと一緒にいたい／受験勉強に時間を費やしたかったため／すでに予定がありずらせないから／当日地域の合唱祭と重なりました／歩行困難のため（2件）／腰痛のため（2件）／聴力の衰えを感じて補聴器を考えている。特に少人数によるグループの話し合いに不自由を感じているため／体が動かないため／高齢だから（3件）／介護施設／体力的に社会参加は無理となりました／参加することでどれだけ生活に変化が起こるか不明だから／市政の運営などと大がかりな内容を論ずる基本的知識がない。生活保護者の見直しをもっとすべきだと。その内誰も働かないナマケモノになってしまう。働いても税金払い生活保護者になってしまうと思うと働く気がなくなります／大阪へ戻るため／仕事のため（3件）／大学の授業などで時間が取れない／余暇を大切にしたい／行政が生かせるような意見を言えそうにないから／話し合える考えがないので申し訳ないと思う</p>	

／忙しい／討議など発言を大勢の前でしたくない。ネットなどで意見を書きこむなどならやってもいいと思える／討議は苦手（6件）／選ばれるとは思えないから／同様の案内が他の人にも送られており、自分が参加する必要性を感じなかった／茅ヶ崎市に住み始めて日が浅く行政の事などまだわかっていない事が多い／家族の都合／海外在住の為／とても難しそう。敷居が高い感じ。気軽に参加しにくい／テーマ内容が不明（10件）／テーマが漠然としすぎている（2件）／一日中のため／市政のどんな内容について討議するかが不明のため／やるべきことが沢山あって終日を割くことができず、またひっぱくしたテーマでもないから／参加すべきとも思うがなかなか・・・／時間が長すぎる（7件）／午前か午後の時間なら参加可能／何の目的かわからない。市民と名を付ければそれでいいのかという疑問／日頃から市議会、各地域の自治会で十分コミュニケーションしていれば市民討議会は必要ないと思いますが／こんなことを行ってどんな効果が過去あったのか不明。やる必要を見い出せない／コミュニケーションといっても、何かつかみどころが分からない／意見を述べてもなかなか反映されないから／テーマが抽象的で当日の具体的なイメージが湧かなかったため。興味を持たず他の予定を優先させようと感じたから

設問7 次回このようなイベントの案内が届いたらどうしますか。 (複数回答可)		
①	日程が合えば、参加する	124
②	興味のあるテーマならば参加する	158
③	謝礼等があれば参加する	62
④	できれば参加したくない	149
⑤	その他	41

設問7 ③謝礼等があれば参加するを選択をした方は、どの程度の謝礼が望ましいですか		
ア	謝礼 1,000 円	10
イ	謝礼 3,000 円	12
ウ	謝礼 5,000 円	20
エ	謝礼 10,000 円	12
オ	謝礼品 1,000 円程度	5
カ	謝礼品 3,000 円程度	10
キ	謝礼品 5,000 円程度	7
ク	謝礼品 10,000 円程度	8

設問7 その他⑤

時間が短ければ参加してみたい（4件）／もう少し若かったなら出席したい／代理参加でよいのでしたら参加します。母

アンケートには協力する／介護を終えられたら／成果があるのであれば参加しても良い／内容によって参加を検討する／予定が合えば考えたい／もっと短時間かつ詳しい内容がわかるならば参加も考える／子育てがひと段落したら（2件）／短時間でテーマ次第

歩行困難のため高齢だから／引っ越します／その時にならなければ分からない／平日勤めている方にとっては、休日は大事なので、長時間はそもそも無理な話だと思います／参加できない（3件）／難しいです／体力に自信がない／持病あるため／身体がきついから参加できないと思う／外出不可／短時間ならまだ都合つくが、長時間は気持ち的にも負担が大きい／現在は気持ちにゆとりがない

分からない／これはイベントなんですか？／こんなことをやらず、市長への手紙に対する返事を出さない。過去10年間私は何度も市長へ出しましたが返事が一度ももらっていない。役人が私のところに話を聞きに来たこともない／託児サービスを作って欲しい（0歳から）

設問 8 「市民参加」を知っていますか		
①	知っている（聞いたことがある）	163
②	知らない	294

設問 9 平成 26 年 4 月 1 日に施行された「茅ヶ崎市市民参加条例」を知っていますか		
①	知っている	23
②	知らない	432

設問 10 「市民参加」について、どう感じますか（複数回答可）		
①	市民の声が市に反映される機会があることは良い	347
②	機会があることで、行政の取組や考えを知ることができる	161
③	機会があることで、自分の考え方の幅や視野が広がる	100
④	時間や手間がかかり、負担に感じる	56
⑤	参加した人だけの意見を、市民を代表した意見として取り扱われるのは疑問である	101
⑥	自分の意見が事業などに改善案として反映されるとは思わない	89
⑦	市の取組に興味・関心がない	21
⑧	市の取組がよく分からない・難しい	98
⑨	その他	14

設問 10 その他⑨		
<p>アンケートなら参加できる／市民の声を聞いてどのように変わったのか知りたい／市は計画道路も中途半端。市営住宅（高田）も空室がほとんどなのになんの対策もしない。参加しても無駄な気がします。／討議の内容が具体的である方が参加しやすいと思う／市民参加による意見や内容を公表して欲しい／本当の市民の声を聞く機能対応なのか／市議会と各地域の自治会との密接な連携が必要では？</p> <p>今回は日程が合わず参加出来ず残念です。インターネットでの市民討議会が開催されるとしたら、拘束時間も短縮され、より参加しやすくなると思います。／行政の公平性を信頼しているので参加した人だけの意見のみで運営されるのに不安を感じる／行政にやってもらいたいことをきくのではなく、市民が主体性をもてるような機会になると良いと思う／いいことと思うが、参加となると難しい／話し合いの結果を教えて欲しい／年寄りすぎる／なぜ今まで知らなかったのかわかりませんが、とても良いと思う。もっとアピールしてください</p>		

設問 11 茅ヶ崎市では、市民の皆さまからいただく御意見を尊重していると思いますか		
①	尊重している	49
②	尊重していると思わない	55
③	わからない	347

設問 12 尊重していると思わない理由はどのようなものですか（複数回答可）		
①	出された意見が市の取組に反映されていない	14
②	意見が反映されていたとしても、どのように反映されたかがわからない	38
③	出した意見に対して市から返事や反応がない	16
④	職員の対応をみて、尊重しているとは感じられない	17
⑤	その他	7

設問12 尊重していると思わない理由はどのようなものですか。その他⑤

意見を誰に言えたいの／一度とても不愉快な対応を受けた。まだ腹立たしい／小出支所は最悪の態度です／私は数年前に都内から引っ越してきましたが、茅ヶ崎地元のママ友は茅ヶ崎は金がないから中学校は給食ないし、子育て（発達障害の子ども）の教育フォローがひどすぎる。住みにくいと聞いています。せめて中学校の給食（ケータリング）を導入してほしい／毎年同じような要望を出しているのに改善が見えない／以前駅前の人通りが多いデコボコ道の補修を意見として出したことがあります「予算が無い」ということで実現しませんでした。いつなら予算があるのですか？生活の中でデコボコ道を通る度に不便さ、景観の悪さを感じ、他のご家族のお子さんが自転車で転びそうになる姿を見て意見したのです。しっかり受け止めて下さるのなら「来年度の予算に」できれば3年後、5年後でも計画的に予算を確保していき・・・といったお返事や周辺の地域の方々にも補修が必要かアンケートしてみるなどの前向きなお返事をいただきましたかったです／職員の対応が悪い。いつも！窓口の対応も遅い／投書してもその回答が結局できないという言い訳である。市民からの半年に一度ほどまとめて広報で配り、その回答も載せるべきである。／一部の市民の声を聞きすぎ／市内の巡回など積極的、能動的な動きを感じない

設問13 「市民参加」として、市と協力してまちづくりをしたいテーマは何ですか
(複数回答可)

①	自治体の運営・仕組みの整備	75	⑨	土木・基盤整備	43
②	安全・安心	209	⑩	下水道・河川	43
③	産業・雇用	73	⑪	地域保健・公衆衛生	54
④	生涯学習・文化	70	⑫	医療	136
⑤	福祉	167	⑬	消防	21
⑥	子育て	166	⑭	学校教育・社会教育	135
⑦	環境・資源	110	⑮	その他	32
⑧	都市づくり	98	⑯	特になし	37

設問13 ⑮その他

防災（7件）／災害時対応（4件）／地震対策／安全対策／津波／観光／スポーツ／健康／自転車問題（3件）／交通・交通手段／食教育＝健康・医療と関係／介護／海岸の砂／海の活用、砂浜保全／弱者にやさしい街づくり／障害者の方にもう少し力を貸していただきたい／高齢者の健康促進運動
ごみの戸別収集／自分はボランティアでミニ電車の手伝いをしているので、子供達に喜んでもらえるなら協力したい／育児休業中の上の子を預けられる期間を2年に伸ばしてほしい／出産の補助が他の市町村に比べて少ない／平塚、藤沢に比べ子育てがしにくい環境であり、子育て世代には魅力がない市である／歩道の整備をもっとしてほしい。歩道の歩きやすさや雑草などベビーカーで歩きやすい歩道にしたい／公園を充実させてほしい／生まれ育った所で生涯を終えることが出来るような町（自治体）をつくること

5 講評

茅ヶ崎市無作為抽出市民討議会に情報提供者として参加して

相模女子大学夢をかなえるセンター
エグゼクティブアドバイザー 松下啓一

茅ヶ崎市の市民討議会の歴史は古く、平成21年からということである。年に2回実施した年度もあるということで、今回の市民討議会は14回目にあたるということです。

私も相模原市南区で、平成23年から、「無作為抽出型区民討議会」に携わっておりますが、実績として茅ヶ崎市は先輩に当たります。

その『茅ヶ崎市「市民討議会」』において、今回、私は、情報提供者として参加させていただきました。

当日はテーマ「コミュニケーションから考える市民参加の可能性～思いをつなげよう未来の茅ヶ崎へ～」に沿い、「パブリックコメント手続を中心とする市民参加推進策」について、参加者のみなさまに討議していただく前提として、議論を引き出す情報を提供する役割設定です。

だからといって、参加者をリードしすぎるような情報提供をしてもいけないので、議論の模様を聞きながら、ポイントを笑い話も含めつつ情報提供させていただきました。

討議では、参加者のみなさまが、「市民参加」を体験しながら、多くの課題と、それを解決する、様々な策を提案され、意見の柔軟さに驚きました。

しかし、なにより、無作為抽出により呼びかけた方より、参加の承諾いただく率が3%と高いことや、多くの若者が、参加していたことは、特別であり、茅ヶ崎市の強みであると感じます。茅ヶ崎市「市民討議会」に期待すること、ここが大事だと思うポイントを講評として記します。

「なぜ、無作為抽出型のような新たな参加方式を試みているのか。」

ひとことでいえば、これまでの自治の転換です。右肩上がりの時代にあっては、要求要望型の地方自治でもなんとかかなったが、人口減少・少子高齢化がリアルに感じられる時代になって、もはやこれまでの要求・要望する自治では立ち行かなくなりました。自治の名の通り、市民自らが治める自治に転換しなければなりません。

そのためには、まちのことをわがことのように考え、市民同士で、知恵を出し、アイデアを出す訓練が必要となります。無作為抽出により呼びかけられた市民が集まる今回の方式は、そうした機会の一つとして確立したものです。

これは新たな文化づくりでもあります。文化づくりですので、すぐにできるものではありませんが、今回のような訓練を積み重ねていく中で、新たな文化をつくっていくしかありません。

だから、こうした見ず知らずの参加者同士が、一緒にまちのことを考える、こうした機会そのものに価値があります。

「議論したことの成果、結果を出すことも重要である。」

討議すると同時に、結果を出すことが重要となります。

みんなで話をして、「ああ楽しかった」では、結局、その意義を半減してしまい、その場限り

の議論になってしまいます。行政には、一つでも、みんなで話したことを実現することに心がけていただき、参加者のみなさまに「参加の意義」を、肌で実感していただくことに心がけていただきたい。ここで議論があったことをヒントに、施策や事務事業として具体化して、参加者に戻すことに、是非取り組んでいただくことを願います。

今後の茅ヶ崎市の市民参加の発展に期待します。

6 茅ヶ崎市「市民討議会」実行委員会の動き

- (1) 茅ヶ崎市「市民討議会」開催に関する協定の締結（4月1日）
- (2) 平成30年度第1回茅ヶ崎市「市民討議会」実行委員会（9月7日）
市民討議会テーマの検討、実施に向けた実行委員会等スケジュールの検討、抽出する市民の数及び年齢層等の決定、謝礼について、タイトル案について、招待状の内容についての検討。
- (3) 平成30年度第2回茅ヶ崎市「市民討議会」実行委員会（9月14日）
市民討議会テーマについて、実施に向けた実行委員会等スケジュールの確認、情報提供者の決定。
- (4) 平成30年度第3回茅ヶ崎市「市民討議会」実行委員会（10月1日）
討議テーマに沿った個別討議のテーマの検討、当日のスケジュールの検討、席替えについて検討、模擬討議会の検討。
- (4) 平成30年度第4回茅ヶ崎市「市民討議会」実行委員会（10月22日）（電子会議）
討議テーマに沿った個別討議のテーマ必要物品の確認、当日のスケジュールの修正、購入物品の確認、ナレーション原稿の確認。
- (5) 模擬「市民討議会」実施（11月2日）
- (6) 市民討議会「コミュニケーションから考える市民参加の可能性～思いをつなげよう未来の茅ヶ崎へ～」開催（11月25日）

あとがき

まず、平成21年度から始まりました茅ヶ崎市市民討議会も、今年度で10年目の節目の年を迎えることができましたことを御礼申し上げます。

市民討議会は、茅ヶ崎市民のみなさまへ「この町の未来への期待と希望を、わたしたちと共に広げてください」のメッセージから、協働のまちづくりへの大きな一歩となるための、新しいかたちの意見交換の場としてスタートし、平成30年度、第2回の茅ヶ崎市市民討議会はテーマを原点に立ち返る「コミュニケーションから考える市民参加の可能性～思いをつなげよう未来の茅ヶ崎へ～」とし、無作為抽出により選ばれた市民のみなさまと3つの小テーマをもとに討議を実施しました。

1つ目の小テーマは「市民参加の現場体験」。市民参加の具体的な内容の説明があり、市からのアンケートへの参加や、今回の市民討議会もその一つであること、敷居が高いと思われる方が多い「市民参加」もより身近に感じていただくことができました。そのなかで「パブリックコメント」という手法を使い、実際の資料の一部を使い討議を行いました。市民討議会にご参加いただいている意識の高い市民のみなさまでも、難しさを感じる方が多く、今後の課題も明確になったかと思えます。

小テーマ2と3では、高校生から、70代の方まで幅広い年代の方のお話をうかがい、年齢や環境によって、情報収集のツールは様々ある中で、何か1つにこだわるのではなく、たくさんの方の方法を試して情報発信していくことの重要性和、意見集約の難しさを改めて感じるようになりました。

時代の変化とともに、ニーズも変化し、意見の集約方法も変わる。特にこの10年、ITの急激な進化にともなう生活の変化も見られるが、どの時代においても、よりよい生活にするためには、市民の声が大きな役割を担っていると感じています。今後も、市政と市民の意見を集約して、よりよい茅ヶ崎市にするための「担い」を、青年会議所として継続していけるように努めてまいります。

みなさま方からいただきました貴重な御意見等につきましては、本報告書としてとりまとめ、今後の市政運営に活用していただくよう、茅ヶ崎市へ報告させていただきます。

最後に、このような機会をいただきました関係諸団体のみなさまと、ご参加いただきました多くの市民のみなさまに心より感謝を申し上げます。誠にありがとうございました。

公益社団法人茅ヶ崎青年会議所
和田 沙織

平成30年度第2回茅ヶ崎市「市民討議会」報告書
平成31年2月発行

編集 茅ヶ崎市「市民討議会」実行委員会
発行 茅ヶ崎市「市民討議会」実行委員会
茅ヶ崎市新栄町13番29号
公益社団法人茅ヶ崎青年会議所内